

例への
自治基本条例メモ



第27話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195

あー、もういやだー

今日はどうしたの？

お母さんとケンカしちゃったんだって。

だってお母さん、僕のやることを、なすことにすぐケチつけるんだよ。あれダメ、これダメって。だからケンカしちゃったんだ。

子どもにも、あまり構わないでほしいときがあるよね。

そっかよね。でも、同じようなことがまちづくりの場面でも起こる可能性があるんだよ。

②

①

どうしてかなの？

例えば、市役所が良かれと思つて、まちづくりに取り組む団体に口出しし過ぎると、団体がやる気をなくしちゃうこともあるんだよ。

③

そんなことにならないように、自治基本条例では、市役所が団体の自主性を大事にするように定めているんだ。

④

でも、頑張つてほしいからこそ、構いすぎることもあるのよね。お母さん、心配しているのよ。

うん、わかった。家に帰ったり、ごめんねって仲直りするよ。

④



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をしぼとします。

おうみ地域防犯安全パトロール隊

- 代表 北村 善吾 ● メンバー 609名
- 活動日 週1~5回(自治会ごとに異なる)
- 活動地域 近江地域



今回は小中学校からの帰宅時間を中心に立ち番をして、子どもたちへのあいさつ、見守りというパトロール活動がされている「おうみ地域防犯安全パトロール隊」におじゃましました。

平成15年に近江地域で起きた子どもに対する連続事件をきっかけに、「地域の子どもは地域のみんなで守る」を合言葉に活動を始められ、自治会が連携して通学路のパトロールや登下校時の児童生徒の見守り活動にあたっておられます。また、交通安全、自治会内の危険個所の点検、防犯マップの作成等にも取り組まれていて、平成16年をピークに近江地域は刑法犯認知件数が激減しています。

隊員の方にお話を伺ったところ、「高齢者も多く、立ちっぱなしで夏の暑い日や雪の日、台風の日にもパトロールをしなければならないのは大変だが、子どもの笑顔を見るとそんなことも吹っ飛んでしまう」とのこと。パトロール日誌にはびっしりとその日の出来事や子どもたちとのやりとりが書かれており、隊員の方が地域を想う気持ちが伝わってきました。

これから冬に向けて寒さも厳しくなり、大変な活動になっていくと思いますが、体に気をつけて地域を温かく見守り続けてくださいね。

掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195